

パネル・ディスカッション 「文化情報学とデータベース」

同志社大学に引き続き、立命館大学にも文化情報学を専攻できる大学院が開設された。我々としては、これらの大学院が成功を収め、関西が文化情報学の“本場”になることを願っている。そこで、これらの大学院の紹介をも兼ねて（それに、このシンポジウムの名称である「人文科学とデータベース」にも引っ掛けて）、「文化情報学とデータベース」というパネル・ディスカッションを開催することにした。

同志社大学の村上征勝教授と立命館大学の矢野桂司教授がパネリストである。両氏には、発表の後、互いの発表についてのコメントをお願いしているが、その後は、フロアーを交えてのディスカッションを展開する予定である。ディスカッションを通じて文化情報学についての理解を深め、さらにはこれを盛り上げることができれば幸いである。

第20回公開シンポジウム「人文科学とデータベース」

実行委員長：田窪直規（近畿大学）